

留学報告書

工学系研究科
マテリアル工学専攻 修士 2 年
川本亮介

留学先: ノルウェーの NTNU (Norwegian University of Science and Technology)

期間: 2016 年の 1 年間

はじめに

修士 1 年の 5 月あたりに学科の友人から留学の話聞き興味を持ち始めた。特にどこに行きたいという強い希望もなかったため、研究室の教授に相談し、知り合いの先生がいるという NTNU を志望することにした。その他の留学生と違い、準備も直前のもののみであり、熱い情熱を持った留学ではなかったが、結果として大変楽しく成長できた留学となった。

準備

前述の通り準備を始めるのは遅かった。このため利用できる奨学金が JASSO の月 8 万のものしか選択肢がない状態だった。ちゃんと準備をしていればトビタテのものをもらえたはずであり額は約 2 倍かつ往復航空券月だったので、とても後悔している。言語については NTNU が TOEFL のスコア 90 点を要求していたが、特に問題なく取得できた。留学先の先生とはメールを通じて何度か連絡を取り合っていた。

生活

まず第一に生活に関わる全てのコストが日本と比べて高いため、節約を強いられる。外食は奢られる以外ほとんど全くせず、昼食を除いて自炊をしていた。そのため料理の腕前は大変に上達することができた。昼食もできるだけ自炊をしていたが、学校のキオスクで売っている安いパンがそれなりに食べられるものであったため、昼食のみこちらで代用した。家賃は約 4 万 5000 円であり食費に最低 2 万円かかると考えると、奨学金の 8 万ではやりくりすることは難しい。

研究

指導教員の元について研究を行った。韓国人の Ph.D の学生、ノルウェー人の 5 年生、留学生の自分の 3 人でほぼ同様の研究を行っていたため、常に相談できる安心感があった。最初の学期は実験条件の選定などで思うように進まなかったため、それをいいことに遊んで暮らしていたが、流石に何か結果を残して帰りたいと思い立ち、二学期目はそれなりの時間を

かけて研究活動に勤しんだ。最終的に修士論文のような、引用可能な公開のレポートを残せたほか、ジャーナルに投稿するというところまで話が進んでいるため、努力が報われてよかったなと感じている。

授業

東大を卒業に必要な単位は修士論文以外すべて取得してから渡航したため、現地で単位を取得する必要はなかった。このため1学期目は何も授業を取らず、2学期目に研究テーマと関連した授業を興味本位で受講した。普段かかわらない下の学年の生徒と関わることが出来たほか、ノルウェーが得意とするシリコンやアルミニウムの製造に関連する会社の方々のお話を聞いたことは大変有意義であった。テストはほぼ無勉強で挑んだので、まだ成績は分からないがおそらく単位は来ていると思う。

交流

学校で主に関わっていたのは、研究テーマを持った Ph.D の学生や5年生(日本では修士2年)の学生たちだった。日本のような研究室といった概念がなく、他の教授につく学生も同じ部屋で勉強をするスタイルだったため、多くの学生と知り合うことができた。また、同学科内でもメジャーな材料を研究する教授たちが立ち上げた学科内グループに参加することで、異なる学年の学生や研究者、また OBOG であり産業に従事する人々とも関わることができた。学科内で催される行事は日本とは比べ物にならないくらい多く、和気あいあいとした雰囲気であったため、留学生の自分も簡単に馴染むことができた。最後まで英語しか話していなかったが、ノルウェー語が話せればよかったなと思う場面も多々あった。

学校以外では、フラットメイトやその友達、ESN の催すイベントで知り合った人などと過ごすことが多かった。留学生はみな基本的にとってもオープンなので仲良くなることは容易い。日本人の学生との関わりは、そもそもの数が少ないため殆どなかった。

旅行

国内国外を問わずとにかく旅行をした。ヨーロッパ旅行の拠点としては向かないが、LCC を使えば十分にどこでも旅行可能である。また、お世辞ではなくノルウェーの自然はいままでみただの自然よりも美しく感じたため、特に国内を重点的に旅行した。

就職

卒業を1年延期し、就活は帰国してから行うこととした。滞在中にボストンキャリアフォーラムに参加することを考えたが、申込みが遅くトラベルスカラシップに漏れたため、断念した。

終わりに

NTNUを志望するまで地図上でノルウェーの位置もわからないほどであったが、いまとなっては大好きな国となった。NTNUも大学のランキングとしては高くないが、学生は優秀であり、設備も大変すぐれている。周りに日本人のいない環境で留学したいという人にはおすすめである。

ノルウェーの写真













